

Takara standard

レンジフード 取扱説明書

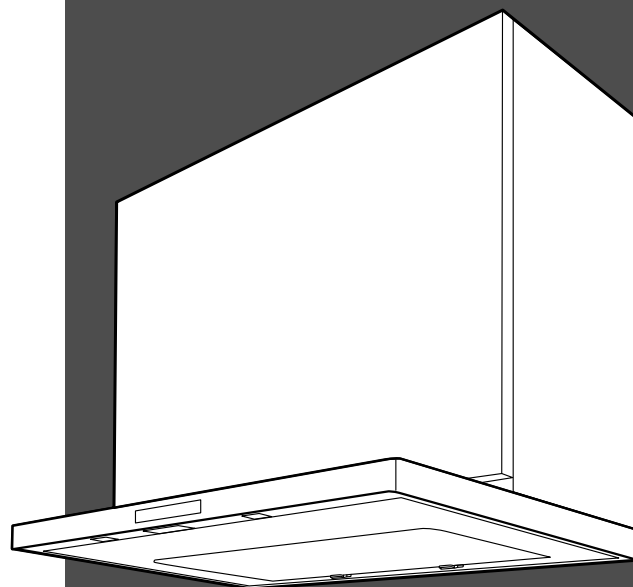
保証書付

このたびはタカラレンジフードをお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。また、お読みになった後は
いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。

■VRAC-Eシリーズ

VRAC-E751AD□・901AD□

※□はL、Rが入る



CONTENTS

安全上のご注意.....	1
各部の名称と仕様.....	3
使いかた.....	4
お手入れのしかた.....	7
こんなときは	13
保証書	14
アフターサービス.....	15

安全上のご注意

必ずお守りください

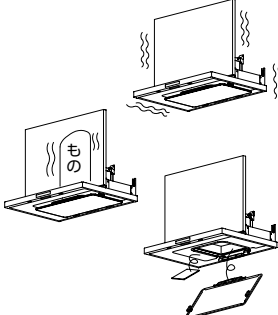
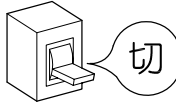
- ご使用前に安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 表示と絵文字の意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容。		行為の指示 (必ずすること) 必ず実行してください。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。		禁止行為 (してはいけないこと) 絶対にしないでください。

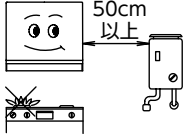
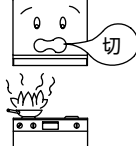
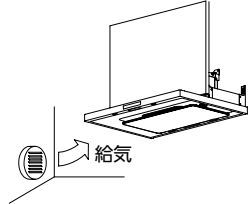
 警告	
 分解禁止	改造はしない。修理技術者以外の人は分解したり修理をしない。 火災、感電、けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
 禁止	電源は交流 100V 以外では使用しない。 交流 100V 以外の電源を使うと、火災・感電のおそれがあります。
 水ぬれ禁止	モータ、操作スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけない。 ショート、感電のおそれがあります。
	異常・故障時には、直ちに使用を中止する。 〈異常・故障例〉 ・ 操作スイッチを入れても動かない。 ・ 電源コードや配線に深いキズがある。 ・ 配線を動かすと、通電したりしなかったりする。 ・ 焦げくさい臭いがする。 ・ ビリビリと電気を感じる。 ・ その他、異常を感じる。 そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがをするおそれがあります。
 禁止	ガス漏れの際は、操作スイッチを入り切りしない。 爆発・引火のおそれがあります。
	お手入れの際は、必ず操作スイッチをロックするか、分電盤のブレーカを切る。その際、ぬれた手で分電盤のブレーカを入り切りしない。 感電やけがをするおそれがあります。 ※分電盤のブレーカを切ると、他機器の電源も遮断される場合があります。

 注意	
	部品の取付けは確実に行う。 部品の落下により、けがや破損のおそれがあります。
 禁止	運転中は危険なため、シロッコファンの中に指や物を入れない。 けがをするおそれがあります。
	フードに顔や頭をぶつけない。 けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

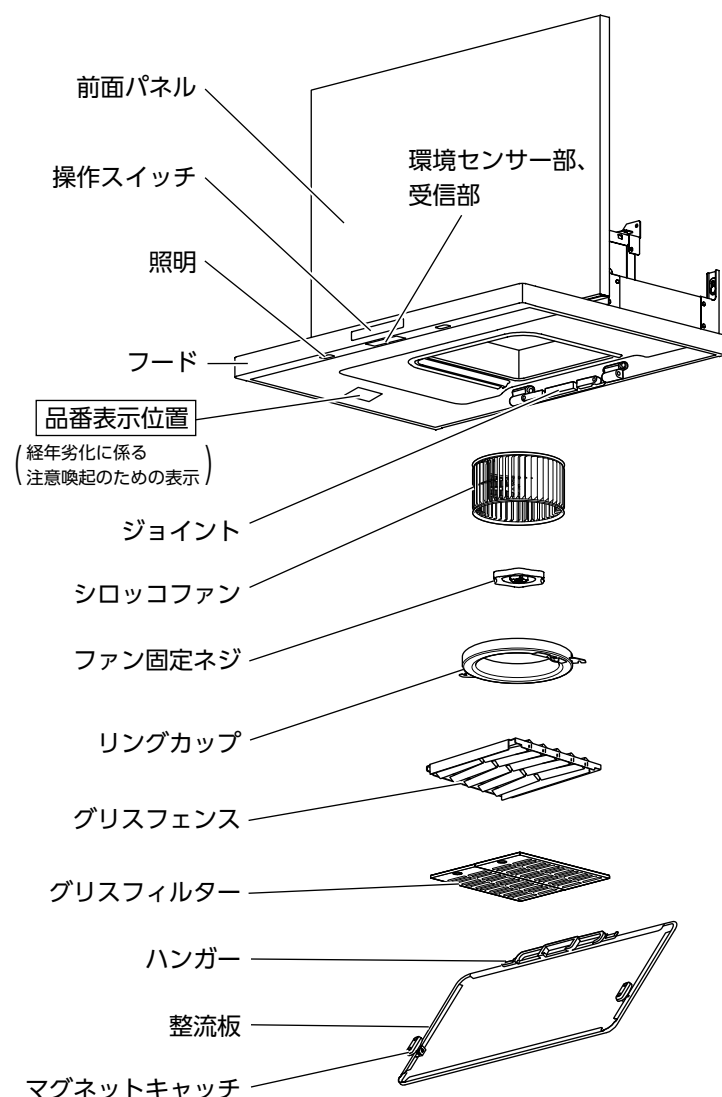
 禁止	本体に異常な振動が発生した場合、使用しない。 本体、部品の落下により、けがや破損のおそれがあります。	
 禁止	フードの天面部には、ものを載せない。 フード部の落下およびものの落下により、けがや破損のおそれがあります。	
	整流板の取付け、取りはずしは確実に行う。 落下により、けがや破損のおそれがあります。	
 電源プラグを抜く	長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、分電盤のブレーカを切る。 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。	
	お手入れの際は、ゴム手袋などを着用する。 けがをするおそれがあります。	
 禁止	レンジフードにもたれかかったり、ぶら下がったりしない。 レンジフードの破損や変形の原因となります。 また、落下してけがをするおそれがあります。	

お願い

高温になる使いかたはしないでください。 ・加熱機器の空だきはしない。 ・湯沸器の取付けは50cm以上離す。 モータ焼損、排ガスによるサビの原因となります。 	誤ってフライパンなどの油に火がついたときは、火を消すと同時にレンジフードの運転を停止してください。 運転を続けると火の勢いが強くなります。 
台所の全体換気の必要なところは、他の換気扇との併用をおすすめします。 加熱機器を使用するときは、必ずレンジフードを運転してください。 運転しないとフード内の温度が上がリ、製品の損傷や高熱による故障の原因となります。	空気の入れ口が必要です。 効率の良い換気を行うために空気の入れ口を設けてください。 空気の入れ口が不十分ですと換気性能が低下します。 
IHヒータなど表面がガラスの加熱機器をご使用の場合、お手入れの際はガラス面を保護してください。 物が落ちて、ガラスが割れるおそれがあります。	吸込み部分に市販の繊維フィルターなどを取付けないでください。 レンジフードの風量低下につながるほか、火災予防条例上、使用が制限される場合があります。
レンジフードご使用時、気流（エアコンなどの風）が直接あたらないようにしてください。 気流（エアコンなどの風）の影響を受けると吸込み低下につながる場合があります。	キッチン周辺の気温が低いときに使用された場合には、レンジフードの表面が結露することがあります。 結露した場合は、ふき取って使用してください。
照明には直接さわらないでください。 特に長時間点灯されると、その表面が熱くなる場合があります。	シロッコファンを取付けていない状態で、レンジフードを運転しないでください。 モータの不具合および換気性能の低下につながる場合があります。

各部の名称と仕様

■VRAC-Eシリーズ



※消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603によります。
数値は静圧0Paのときの値です。

設置環境により実使用の数値とは異なります。

※本製品に使用している部品は、性能向上などのため予告なしに一部変更することがあります。

仕様

定格	風量	消費電力 (W)	排気風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
			0Pa	0～100Pa	
100V 50/60Hz	強	49	—	449	47
	中	18	—	295	38
	弱	9	193	—	27

製品質量

間口75cm	間口90cm
24kg	26kg

■リモコン (別売品)



RH リモコン-3

- リモコンにはリモコンホルダーが同梱されていますが、ご使用の際にはリモコンを手に持ち、レンジフードの受信部に向けて操作してください。
- リモコンの使用方法是、リモコンに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

ホーローシームレス構造

一体成形技術によって継ぎ目や隙間を最小限に抑えたフォルムに、熱や汚れに強い高品位ホーローを施したホーローシームレス構造を《整流板》・《グリスフィルター》・《フード》に採用。

スムーズでフラットに仕上げられた造形と高品位ホーローによって、お手入れをよりやすく、より簡単に。

→P.7～P.9

レンジフード内部のお手入れ10年間不要^{※1}

気流をコントロールし、レンジフードに取り込まれる空気中の油や汚れを効率的に捕集するグリスフィルターおよびグリスフェンスを搭載。

レンジフード内部のお手入れは10年間不要^{※1}、普段のお手入れは、《整流板》・《グリスフィルター》・《フード》(グリスフェンス下面を含む)のみ。

→P.7～P.9

※1) 10年間使用した汚れ具合であったとしても換気性能に影響しない、ということを含意しており、レンジフード内部が汚れない、ということではありません。使用開始から10年を超える場合、もしくはそれ未満であっても、レンジフード内部の汚れが気になる場合は、《グリスフェンス》・《リングカップ》・《シロッコファン》(ファン固定ネジ含む)を取りはずして、それぞれをお手入れしてください。

→P.10～P.12

加熱機器連動^{※2}

加熱機器を加熱開始(着火)すると、レンジフードが自動的に運転を開始、加熱停止(消火)すると、レンジフードは一定時間、運転を続けた後に、自動的に運転を停止。調理中、レンジフードを操作することなく換気が可能に。

→P.6

※2) 通信規格がNECフォーマット(38kHz)で、レンジフード連動に対応した加熱機器でなければ連動できません。詳しくは、加熱機器の取扱説明書をご覧ください。

自動運転(自動風量制御)

レンジフード付近の空気質を検知する環境センサーを搭載。レンジフードが自動運転している間、湯気や煙、ニオイなどの発生状況に応じて、3段階の風量レベルを自動でコントロール^{※3}。レンジフードを操作することなく最適な換気が可能に。

→P.4

※3) ご使用の条件や状況により、風量レベルが切り替わらない、切り替わるまでに時間が掛かる場合は、マニュアル運転でご使用ください。

整流板開閉制御

整流板の開閉状態を検知する整流板センサーと、整流板を開ける際の勢を抑える緩衝機構をそれぞれ搭載。

整流板が正しく取付けられていない^{※4}、整流板が開いている^{※4}状態で、誤ってレンジフードが運転を開始しないようにすると共に、開けた整流板が壁面へ衝突しないように動きを制御^{※5}。

→P.8

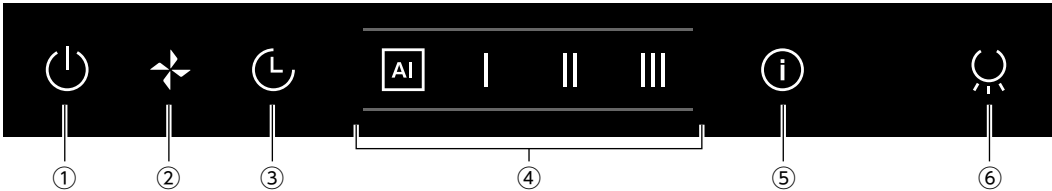
※4) 整流板が正しく取付けられていない、整流板が開いている場合は、操作スイッチの  が点滅します。操作スイッチを押しても運転しません。(照明のみ、 を約1秒間長押しすることで、「点灯/消灯」できます)

※5) 整流板が壁面へ衝突しないことを保証するものではありません。また適切でない整流板の取扱いを許容するものではありません。整流板を開閉させる際は、必ず整流板を両手でしっかりと持って、ゆっくりと操作してください。

操作スイッチについて

お願い

- 操作スイッチはひとつずつ操作し、本説明書に記載する操作以外で、複数の操作スイッチを同時に押さないでください。
- 操作スイッチは各アイコンの中心部を指の腹でふれるように軽く押すだけで作動します。強く押さないでください。



番号	名称	説 明
①	電源スイッチ	レンジフードの運転を開始／停止します。 ● 運転開始後、表示ランプの AI が点灯、自動運転を開始します。 ● 照明を除き、連続運転時間が約6時間経過すると、自動で運転を停止します。 <操作スイッチのロック／ロック解除> お手入れの際、操作スイッチに触れて誤って運転を開始しないようにする場合にお使いください。 【ロック】 運転停止状態で、⏻ を約3秒間長押しする 「ピピッ」と音が鳴り、⏻ が点滅します。 ● 操作スイッチを押しても運転しません。 (照明のみ、💡 を約1秒間長押しすることで「点灯／消灯」できます) 【ロック解除】 点滅中の ⏻ を約3秒間長押しする 「ピーッ」と音が鳴り、⏻ の点滅が消えます。 ● 整流板が正しく取付けられていない、整流板が開いている場合は、ロック解除されません。整流板を閉じてから操作してください。
②	風量スイッチ	レンジフードの風量レベルを手動で切り替えます (マニュアル運転)。 ● 自動運転中に押すと、自動運転OFF (AI が消灯) となり、押すたびに、次のように表示ランプが切り替わります。 ➔ I (弱) ➔ II (中) ➔ III (強) ➔ AI (自動) ➔ (マニュアル運転) I (弱) : 油煙の少ないときや調理後の換気をするときに使用します。 II (中) : 通常の換気をするときに使用します。 III (強) : 油煙の多いときや、早く換気するときに使用します。 AI (自動) : 風量レベルを自動で切り替えるときに使用します。
③	タイマースイッチ	数分後に自動で運転を停止します (タイマー運転)。 調理後の熱気やニオイを排出するときなどにお使いください。 ※照明はタイマー運転と連動しません。 ● レンジフード運転中に押すたびに、次のように設定が切り替わります。 点滅 ➔ ゆっくり点滅 ➔ 点灯 約3分後に運転停止 約10分後に運転停止 タイマー運転 OFF
④	表示ランプ	運転状態を表示します。 例 1) 自動運転で 風量 (強) の場合 例 2) マニュアル運転で 風量 (強) の場合 AI I II III AI I II III
⑤	お知らせスイッチ	お手入れ時期であることを点滅してお知らせします (お手入れサイン)。 お手入れのしかた (➔P.7～P.12) を参照して、レンジフードを掃除してください。 <お手入れサインのリセット> お手入れ後、点滅中の 🔔 を約3秒間長押しする 「ピーッ」と音が鳴り、お手入れサインが消えます。
⑥	照明スイッチ	押すたびに、照明を点灯／消灯します。

設定モードについて

設定モードでは、下記の設定確認・変更ができます。必要に応じて操作してください。

- 環境センサー感度の設定確認・変更 →P.5
- お手入れサイン期間の設定確認・変更 →P.6
- 加熱機器連動の設定確認・解除 →P.6

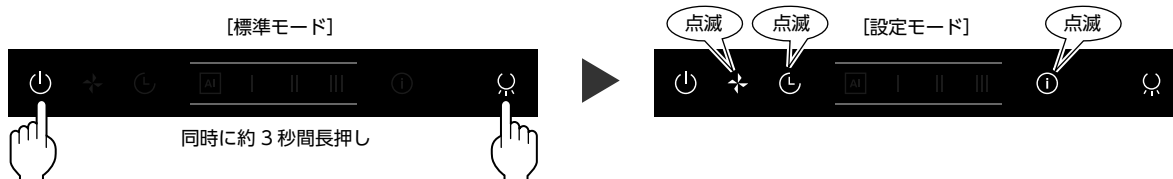
※設定された内容は、運転停止、および 停電などがあった場合でもリセット (初期化) されません。

設定モードへの切り替えかた

運転停止状態で、 と  を同時に約3秒間長押しする

「ピピッ」と音が鳴り、、 および  が点滅します。

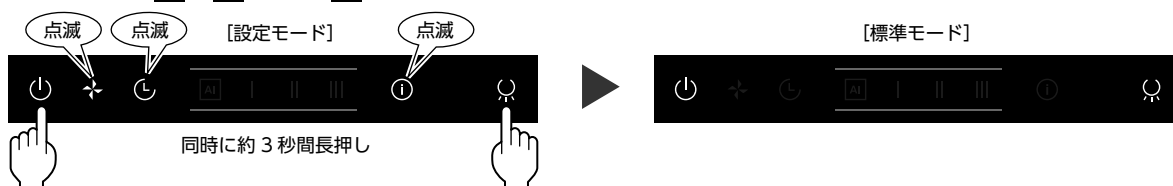
※設定モードで、約30秒間 操作がなかった場合、自動的に標準モードへ切り替わります。



標準モードへの切り替えかた

設定モードで、 と  を同時に約3秒間長押しする

「ピーッ」と音が鳴り、、 および  が消灯します。



環境センサー感度の設定確認・変更

1 設定モードへ切り替える →P.5

2 を押す

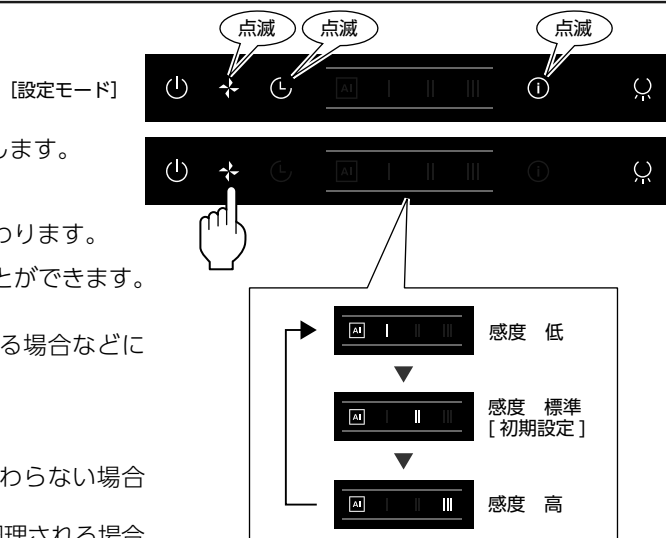
「ピッ」と音が鳴り、現在の設定に応じて表示ランプが点灯します。

(設定を変更する場合) 続けて  を押す

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、表示ランプの点灯が切り替わります。

環境センサーの感度は 低 | 標準 | 高 の3段階で変更することができます。

- 感度 低 : 環境センサーの感度を初期設定より下げる
自動運転中、風量レベルが頻繁に切り替わる場合などに設定
- 感度 標準: 初期設定
- 感度 高 : 環境センサーの感度を初期設定より上げる
自動運転中、風量レベルがなかなか切り替わらない場合などに設定
※グリルやうしろコンロを利用して頻繁に調理される場合、
また加熱機器からレンジフード下面までの離隔距離が
長い場合はこちらの設定をおすすめします。



3 を押す

「ピーッ」と音が鳴り、設定確認・変更を終了して、設定モードに戻ります。

4 標準モードへ切り替える →P.5

お手入れサイン期間の設定確認・変更

1 設定モードへ切り替える →P.5

〔設定モード〕

2 ①を押す

「ピッ」と音が鳴り、現在の設定に応じて表示ランプが点灯します。

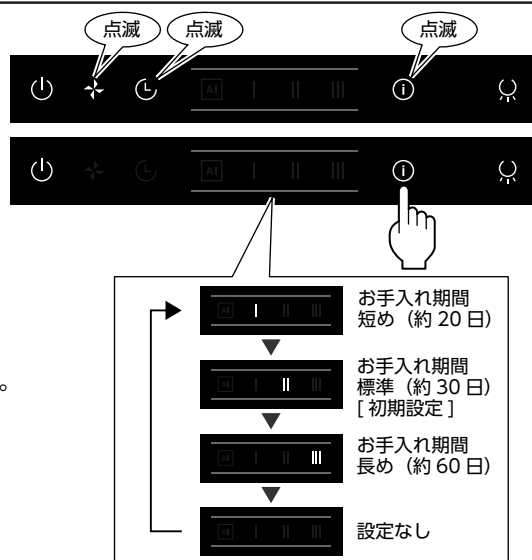
(設定を変更する場合) 続けて ①を押す

押すたびに「ピッ」と音が鳴り、表示ランプの点灯が切り替わります。

3 ②を押す

「ピーッ」と音が鳴り、設定確認・変更を終了して、設定モードに戻ります。

4 標準モードへ切り替える →P.5



加熱機器連動の設定確認・解除

1 設定モードへ切り替える →P.5

〔設定モード〕

2 ③を押す

「ピッ」と音が鳴り、現在の設定に応じて表示ランプが点灯します。

(設定を変更する場合) 続けて ③を押す

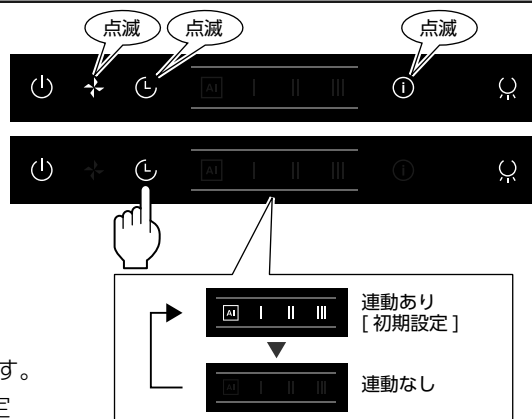
押すたびに「ピッ」と音が鳴り、表示ランプの点灯が切り替わります。

3 ④を押す

「ピーッ」と音が鳴り、設定確認・変更を終了して、設定モードに戻ります。

- 加熱機器にレンジフード操作スイッチがある場合、[連動なし]の設定でも、加熱機器でレンジフードを操作することができます。

4 標準モードへ切り替える →P.5



加熱機器連動について

- 加熱機器を加熱開始 (着火) すると、レンジフードが自動的に運転を開始します。風量は連動開始時の運転状態により自動で設定されます。(下表参照) 本製品の通信規格はNECフォーマット (38kHz) です。その他の通信規格では連動できません。加熱機器の機種によっては、異なる動作をする場合があります。詳しくは、加熱機器の取扱説明書をご覧ください。

	加熱開始前	加熱開始 (着火)
レンジフード の 運転状態	停止	自動運転
	弱運転	
	中運転	
	強運転	
	自動運転	

- 加熱機器を加熱停止 (消火) すると、レンジフードは一定時間、運転を続けた後に、自動的に運転を停止します。(タイマー運転については、→P.4「③タイマースイッチ」参照)

	加熱停止前	加熱停止 (消火)
レンジフード の 運転状態	マニュアル運転中	タイマー運転スタート、約3分後に自動停止
	自動運転中	換気状態を判断して自動停止(最大約30分)※
	タイマー運転中	タイマー運転 (3分/10分) 継続、設定時間経過後に自動停止

※自動停止するまでの間に ④を押すと、自動停止は解除されます。

※加熱機器を加熱停止 (消火) するまでの間にレンジフードの運転を停止/開始させると、自動停止は解除されます。

- レンジフードの風量切り替え、および 照明の「点灯/消灯」など、加熱機器で操作できる機種もあります。詳しくは、加熱機器の取扱説明書をご覧ください。



お手入れのしかた



当社ホームページにて、お手入れのしかた・使いかたを動画でご確認いただけます

タカスタンダード レンジフード 取扱説明動画



警告	! お手入れの際は、必ず操作スイッチをロックするか、分電盤のブレーカを切る。その際、ぬれた手で分電盤のブレーカを入り切りしない。感電やけがをするおそれがあります。 ※分電盤のブレーカを切ると、他機器の電源も遮断される場合があります。	分電盤 ブレーカ
注意	! モータ、操作スイッチなどの電気部品に水や洗剤をかけない。ショート、感電のおそれがあります。 ● お手入れの際は、ゴム手袋などを着用する。けがをするおそれがあります。 ● 部品の取り付け／取りはずし・取付けの際は、落下させないように注意する。落下により、けがや破損のおそれがあります。	

お願い

- 油やほこりなどの汚れが付着しますと風量低下や異常音発生の原因となります。
- レンジフードは定期的に掃除してください。
- お手入れに使用する洗剤は、中性洗剤をお使いください。変質、変色、傷つき、はがれなどの防止のため、みがき粉（研磨剤）、研磨剤入りスポンジ、金属タワシ、ベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤などは使用しないでください。
- 部品の取付け／取りはずしに工具を使用しないでください。
- 部品の取付け／取りはずし、および お手入れされる際、部品を乱暴に扱わないでください。部品の変形や破損などの原因となります。



食器洗い乾燥機で洗える部品／洗えない部品

食洗機 OK	グリスフィルター ※汚れがひどい場合は、予洗いしてください。	食洗機 NG	整流板 ※塗装の劣化や部品の腐食などにつながります。 シロッコファン ファン固定ネジ リングカップ グリスフェンス
--------------------------	--	--------------------------	--

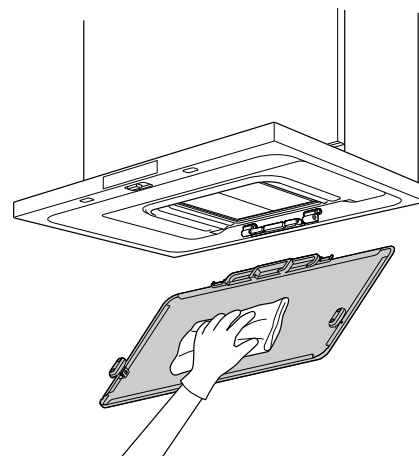
整流板のお手入れ

食洗機
NG

お手入れ
1ヶ月に
1回程度

注意	! ● 調理中は整流板にさわらない。 ● 調理後は整流板が熱くなっている可能性があるため、しばらく時間をおき、冷ましてから取扱う。 ● 整流板を取扱う際は、加熱機器の上にものを置かない。 ● 整流板は重さがあるため、取扱う際は落とさないように整流板を両手でしっかり持つ。 ● 整流板を取扱う際は無理な力を加えない。
------------------	---

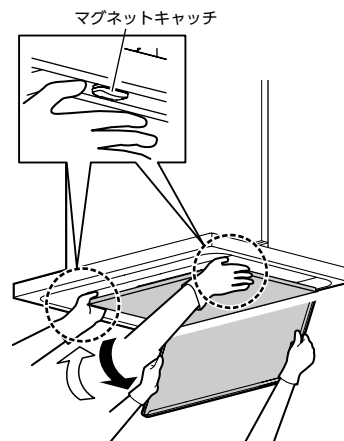
- 1 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように水ぶきした後、乾いた布でよくふき取る



整流板の開閉

開けかた

- 1 図のように、整流板を両手でしっかり持つ
- 2 整流板をさげて、整流板のマグネットキャッチをフード内側からはずす
- 3 そのまま整流板をゆっくりさげる
 - 整流板を開けると、レンジフードが強制停止し、 が点滅します。
 - 強制停止中は操作スイッチを押しても運転しません。
※照明のみ、 を約1秒間長押しすることで「点灯／消灯」が可能です。
 - マグネットキャッチは前後左右方向へ傾くように設計されています。故障ではありません。
 - 整流板は開き角度 約50～70° で止まるように設計されています。故障ではありません。



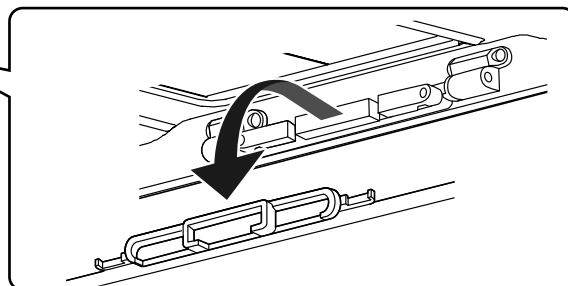
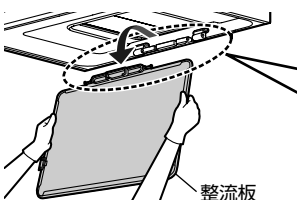
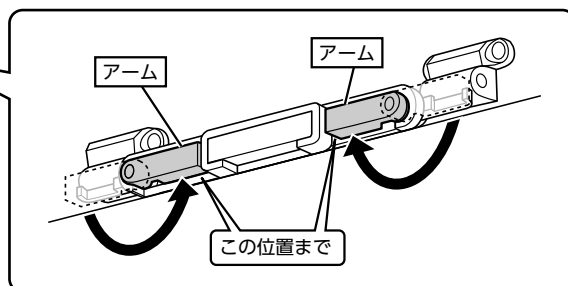
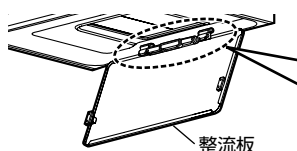
閉めかた

- 1 整流板を両手でしっかり持ち、ゆっくり持ちあげて、整流板のマグネットキャッチをフード内側に吸着させる

整流板の取りはずし・取付け

取りはずしかた

- 1 整流板を開ける
- 2 左右のアームを内向きにまわす
- 3 整流板を両手でしっかり持ち、手前に引く



取付けかた

- 1 整流板を両手でしっかり持ち、ハンガーをジョイントにはめ込む

⚠ 注意



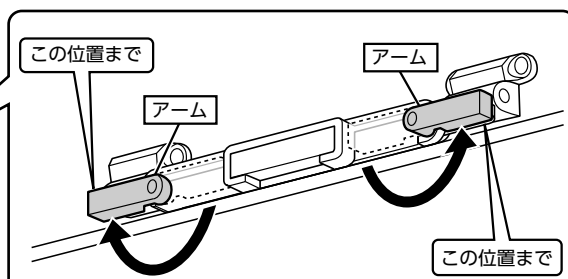
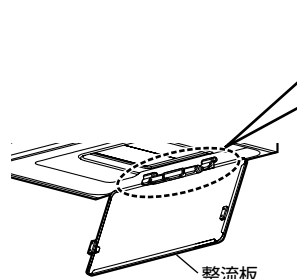
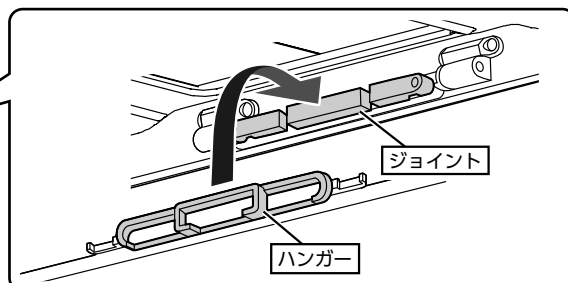
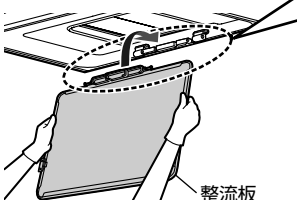
ハンガーは、確実に、ジョイントの奥まではめ込む
整流板の落下や破損のおそれがあります。

- 2 左右のアームを外向きにまわす

お願い

整流板を両手でしっかり持ち、整流板がはずれないことを確認してください。

- 3 整流板を閉める



お手入れのしかた

グリスフィルターのお手入れ

食洗機
OK

お手入れ
1ヶ月に
1回程度

- 1 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸し、スポンジなどで汚れを洗い落とす
- 2 十分にすすいだ後、水分をよくふき取り、乾燥させる
グリスフィルターは食器洗い乾燥機で洗うこともできます。
お使いの食器洗い乾燥機の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。汚れがひどい場合は、予洗いしてください。



グリスフィルターの取りはずし・取付け



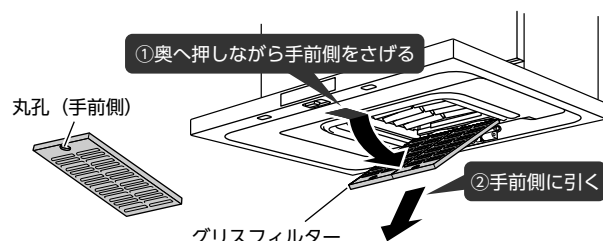
注意



落とさないように、グリスフィルターに手をそえて、しっかり持つ。
落下により、けがや破損のおそれがあります。

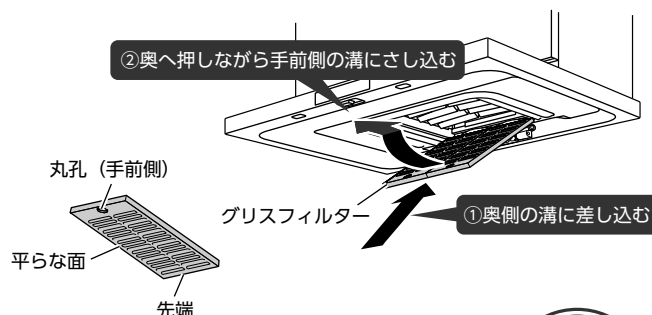
取りはずしかた

- 1 グリスフィルターの丸孔に指を掛けて持ち、奥へ押しながら、手前側をさげる
- 2 グリスフィルターを手前側に引く



取付けかた

- 1 グリスフィルターの平らな面を下向きにして、丸孔に指を掛けて持ち、グリスフィルターの先端を奥側の溝にさし込む
- 2 奥へ押しながら持ち手を上げ、グリスフィルターを手前側の溝にさし込む



フードのお手入れ

お手入れ
1ヶ月に
1回程度



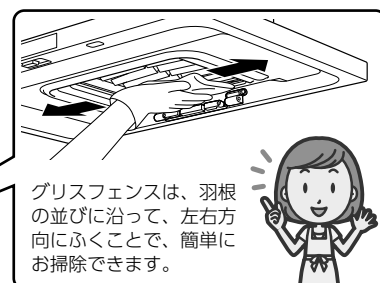
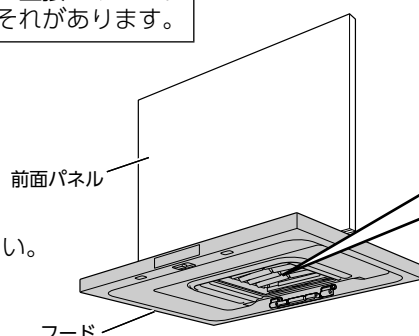
警告



電気部品に水や洗剤を直接かけない。
ショート、感電のおそれがあります。

- 1 中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように水ぶきした後、乾いた布でよくふき取る

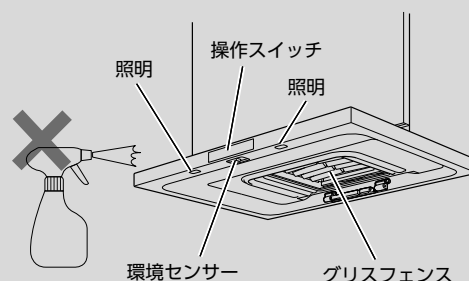
※前面パネルについても、汚れが気になる場合は同様のしかたでお手入れしてください。



グリルフェンスは、羽根の並びに沿って、左右方向にふくことで、簡単にお掃除できます。

お願い

- 操作スイッチや照明、環境センサーなどの電気部品、およびグリルフェンス内部に水や洗剤などをかけないでください。
- 環境センサーやグリルフェンスの開閉口に物を入れたり、塞いだりしないでください。故障や作動不良の原因となります。



使用開始から10年を超える場合、もしくはレンジフード内部の汚れが気になる場合は、以下の内容に沿って、お手入れを行ってください。

グリスフェンス・リングカップのお手入れ

食洗機
NG

お手入れ
使用10年超
・
汚れが気になったとき

- 1 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸し、スポンジなどで汚れを洗い落とす
- 2 十分にすすいだ後、水分をよくふき取り、乾燥させる



グリスフェンスの取りはずし・取付け

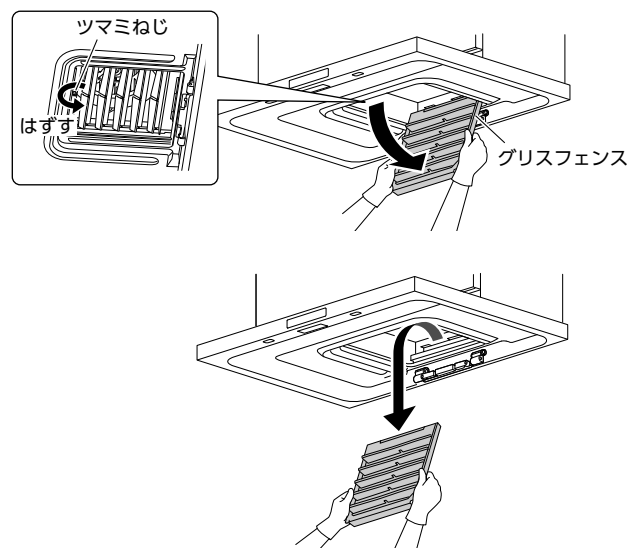
⚠ 注意



落とさないように、グリスフェンスに手をそえて、しっかり持つ。
落下により、けがや破損のおそれがあります。

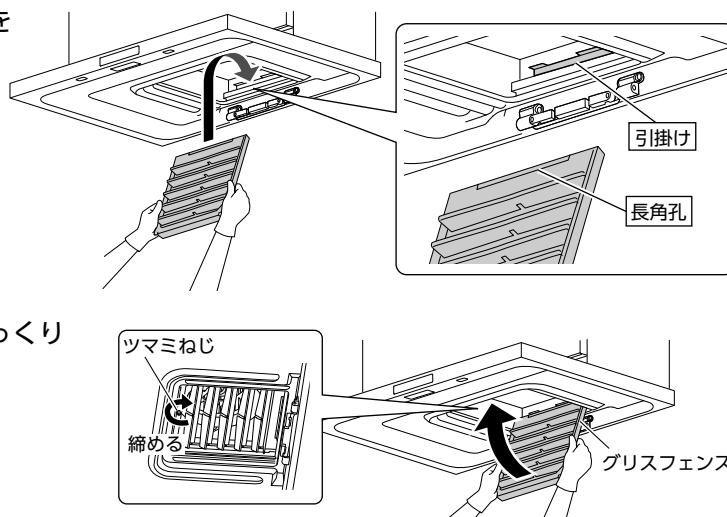
取りはずしかた

- 1 ツマミねじを指でつまみ、グリスフェンスを手で支えながらゆっくり開ける
- 2 グリスフェンスを両手でしっかり持ち、持ち上げながら手前側に引いて、抜き取る



取付けかた

- 1 グリスフェンスを両手でしっかり持ち、長角孔を引掛けにさし込む
- 2 グリスフェンスがはずれないことを確認し、ゆっくり閉めて、ツマミねじを指でつまんで締め付ける
グリスフェンスが外れないことを確認してください。



お手入れのしかた

リングカップの取りはずし・取付け

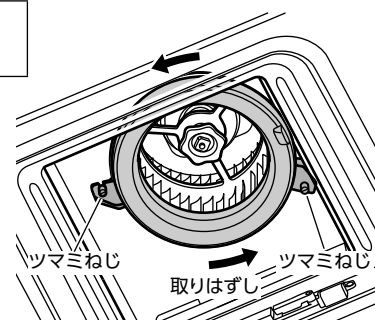
⚠ 注意



落とさないように、リングカップに手をそえて、しっかり持つ。
落下により、けがや破損のおそれがあります。

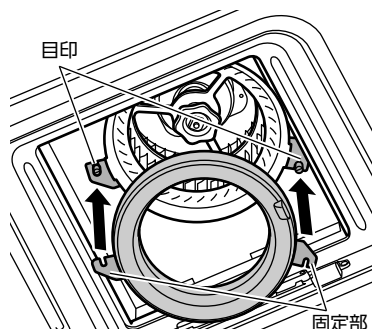
取りはずしかた

- 1 ツマミねじ (2 か所) を指でつまんでゆるめる
- 2 リングカップを両手でしっかり持ち、反時計回りに回して下側に引き抜く



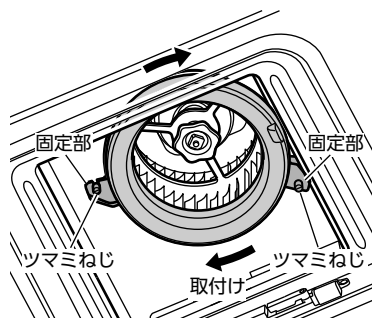
取付けかた

- 1 リングカップを両手でしっかり持ち、固定部 (2 か所) を本体側に設ける目印の形状と合うようにあてがう



- 2 リングカップを両手でしっかり持ち、時計回りに回す

- 3 ツマミねじ (2 か所) を指でつまんで締め付ける
リングカップが外れないことを確認してください。



シロッコファンのお手入れ

食洗機
NG

お手入れ
使用10年超
・
汚れが気になったとき

⚠ 注意



シロッコファンに衝撃や強い力を加えない。
変形により、異音や作動不良などの原因となります。

- 1 中性洗剤を溶かしたぬるま湯の中に浸し、スポンジなどで汚れを洗い落とす
- 2 十分にすすいだ後、水分をよくふき取り、乾燥させる



お願い

- シロッコファンの羽根に金具 (回転のバランス用) が付いている場合がありますが、絶対に取りはずさないでください。異音や作動不良などの原因となります。



- ファンボスや羽根などが濡れた状態のシロッコファンは取付けないでください。モータ軸へのシロッコファン固着やサビなどの原因となります。

シロッコファンの取りはずし・取付け



注意



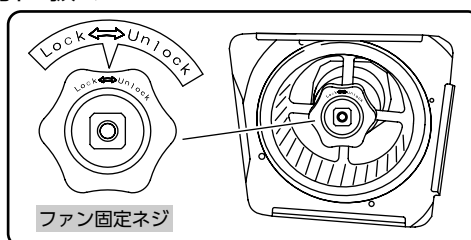
落とさないように、シロッコファンに手をそえて、しっかり持つ。
落下により、けがや破損のおそれがあります。

取りはずしかた

- 1 シロッコファンがまわらないように保持しながら、ファン固定ネジを「Unlock」の方向へ回す
- 2 ファンボスを持ち、ゆっくりシロッコファンを引き抜く

お願い

モータ軸はお手入れしないでください。
防サビ被膜がはがれて、モータ軸へのシロッコファン固着やサビなどの原因となります。

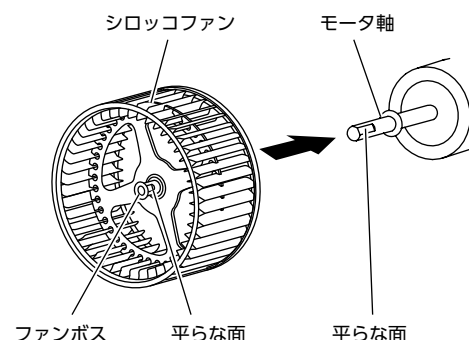


取付けかた

- 1 ファンボスを持ち、モータ軸の奥までさし込む
モータ軸にある平らな面とファンボスの平らな面の位置を合わせてください。
- 2 シロッコファンがまわらないように保持しながら、ファン固定ネジを「Lock」の方向へ回して締め付ける

お願い

ファンボスを持って手前へ軽く引っ張り、はずれないこと、がたつかないことを確認してください。



お手入れ後の取付けと試運転

- お手入れ後、各部品が十分に乾燥していることを確認してから本体に取付けてください。
- 分電盤のブレーカが「入」になっていること、操作スイッチのロックが解除されていることを確認してください。
(➡P.4「①電源スイッチ」参照)
- お手入れサインが点滅している場合は、お手入れサインをリセットしてください。(➡P.4「⑤お知らせスイッチ」参照)
- すべての部品を取付けた後、1分程度、**風量 III (強)** で**試運転**を行い、異常なく作動することを確認してください。

運転中、「ボォー」という**風切音がしない場合**は、シロッコファンが脱落している可能性があります。
直ちに運転を停止してください。**1分間程度待ってから**整流板を開け、再度シロッコファンを取付けなおしてください。
(➡P.12「シロッコファンの取りはずし・取付け」参照)

こんなときは

アフターサービスをお申しつけになる前に、次の点をお調べください。

それでも具合の悪いときは、運転を停止し、分電盤のブレーカを切り、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のフリーダイヤルへご連絡ください。

症 状	原 因
操作スイッチを押しても運転しない。 照明スイッチ  を押しても点灯しない。	● 停電ではありませんか。ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。 ● 素手で操作していますか。 ● 操作スイッチがロックされていませんか。(➡P.4) ● 整流板が正しく取付けられていますか。(➡P.8)
運転中に異常音や振動がする。	● グリスフィルター、グリスフェンス、リングカップ、シロッコファンなどが正しく取付けられていますか。(➡P.7～P.12)
運転中に風切り音がしない。	● シロッコファンが正しく取付けられていますか。(➡P.12)
換気風量が少ない。 運転中の騒音が大きい。	● グリスフィルターやグリスフェンスが汚れていませんか。(➡P.9～P.10) ● グリスフェンスの開口部に物を入れたり、塞いだりしていませんか。(➡P.2、P.9) ● 室内の空気の入れ口は十分に確保できていますか。(➡P.2) ● 気流(エアコンなどの風)が直接あたっていませんか。(➡P.2) ● 吸込み部分に市販の繊維フィルターなどを取付けていませんか。(➡P.2)
リモコン(別売品)を操作してもレンジフードが作動しない。	● 停電ではありませんか。ご家庭のブレーカやヒューズが切れていませんか。 ● リモコンの電池が古くなっていませんか。 ● リモコンの送信部、本体の受信部が汚れていませんか。 ● 操作スイッチがロックされていませんか。(➡P.4) ● 整流板が正しく取付けられていますか。(➡P.8)
レンジフード連動に対応した加熱機器と連動しない。	● 「連動なし」設定になっていませんか。(➡P.6) ● 操作スイッチがロックされていませんか。(➡P.4) ● 整流板が正しく取付けられていますか。(➡P.8) ● 加熱機器の通信規格がNECフォーマット(38kHz)以外ではありませんか。(➡P.6) ● 加熱機器を加熱停止(消火)するまでの間に、レンジフードの運転を停止/開始させていませんか。(➡P.6) ● 自動運転中に加熱機器を加熱停止(消火)した後、風量スイッチ  を押していませんか。(➡P.6) ※自動運転中に加熱機器を加熱停止(消火)すると、レンジフードは換気状態を判断して自動停止します。レンジフード付近の状況により、自動停止するまでの時間が変わります(最大約30分)。
自動で風量レベルが切り替わらない。切り替わりが遅い。 付近の状況に適した風量レベルで運転しない。	● 自動運転になっていますか。(➡P.4) ● 環境センサーの感度設定は適切ですか。(➡P.5) ● 環境センサーの開口部に物を入れたり、塞いだりしていませんか。(➡P.9) ● レンジフード付近にニオイの強いもの(香水やタバコの煙など)はありませんか。(➡P.3) ※自動運転中、搭載する環境センサーがレンジフード付近の空気質を検知、湯気や煙、ニオイなどの発生状況を判断して、風量レベルを自動でコントロールしています。加熱機器が加熱停止(消火)していても、また調理などをしていなくても、自動運転中にレンジフード付近の空気質に変化があれば、それに応じて、風量レベルが自動で切り替わります。
電源スイッチ  が点滅している。	● 操作スイッチがロックされていませんか。(➡P.4) ● 整流板が正しく取付けられていますか。(➡P.8)
風量スイッチ  とタイマースイッチ  とお知らせスイッチ  が同時に点滅している。	● 設定モードになっていませんか。(➡P.5)
タイマースイッチ  が点滅している。	● タイマー運転中ではありませんか。(➡P.4) ● 「連動あり」で、加熱機器側で加熱停止(消火)していませんか。(➡P.6)
お知らせスイッチ  が点滅している。	● お手入れ時期ではありませんか(お手入れサイン)。(➡P.4)
お知らせスイッチ  +表示ランプ(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)のすべて、または  (のみ)が同時に点滅している。	● 製品に不具合が生じている疑いがあります。販売店へご連絡ください。

レンジフード 保証書

品 番			
保証期間		1 年間	★お買い上げ日
		年 月 日	
★ お 客 様	ご住所	〒	
	お名前	様 TEL ()	
★ 販 売 店	住 所		
	店 名	TEL ()	
		印 または サイン	

★印欄に記入のない場合には有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。
もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。
本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

記

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のフリーダイヤルへ出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
- 保証期間内で次の場合には有料修理になります。
 - 一般家庭以外（例えば車両、船舶への搭載、業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
 - 使用上の不注意、過失による不具合および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。（例）ファン、フィルターなどの汚れ など。
 - 第三者によるメンテナンス上などの不備（修理、分解、改造、移動など）に起因する不具合。
（例）ハウスクリーニング業者が指定の洗浄剤以外のクリーニング剤使用による変色や腐食 など。
 - 指定業者や設置説明書に基づかない設置や当社による設置工事以外に起因する不具合、および当社設置後、入居までの間の管理不備による不具合。
 - 取付後の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 建築躯体の変形など対象商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
 - 塗装の色あせ等の経年変化又は使用に伴う磨耗、コーキングの切れ、さび、カビ、変質、変色その他類似の事由による場合。
 - 自然現象や住環境に起因する凍結、結露、音鳴り等の現象およびそれらに起因する損傷。
 - （10）海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気循環および公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する故障や損傷。
 - （11）ねずみ、犬、ねこなどの動物や昆虫などに起因する不具合。
 - （12）火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合。
 - （13）消耗部品（電球、フィルター、電池など）の消耗に起因する不具合。
 - （14）異常電圧、指定外の使用条件（電源、電圧、周波数など）による故障および破損。
 - （15）傷など外観の不具合で、引き渡し時に申し出がなかったもの。
 - （16）保証書の提示がない場合、保証書にお客様名、販売店名、お引渡し日の記入のない場合（領収書などで前記内容がわかる場合はこの限りではありません）、あるいは字句を書換えられた場合。
 - （17）保証期間経過後に申し出があったもの、または保証該当事項の発生後、すみやかに申し出がなかったもの。
 - （18）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only Japan.）
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

お客様へ
この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは取扱説明書をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または裏表紙に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

修 理 記 録	年 月 日	修 理 内 容	担 当 者

アフターサービス

タカラ製品のアフターサービスは、お買い上げの販売店へお申し付けください。

また、おわかりにならない時は、下記WEBサイトまたはフリーダイヤルよりご連絡ください。

WEB

タカラスタンダードお客さまサポートサイト
<https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>



お電話



0120-557-910

※携帯電話・IP電話等で、一部通話ができない場合があります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- ①製品品番（製品内部に表示） ②症状
③ご購入年月日 ④お名前・ご住所・お電話番号

修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

※保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の内容をよくご確認ください。

補修用性能部品の最低保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

■ 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります。
【設計上の標準使用期間】10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

■ 経年劣化とは

長期間にわたる使用や放置に伴い生じる部品劣化をさします。

タカラスタンダードお客さまサポートサイト

<https://www.takara-standard.co.jp/support/index.html>

インターネットでの修理のご依頼、（お客さまサポートサイト）
消耗品・小物のご注文も可能です。



〈修理のご依頼〉

修理のご依頼をインターネットより受け付けております。

修理受付後、弊社修理窓口よりお電話でご連絡させていただきます。

〈よくあるご質問〉

お客様よりお問い合わせいただくことの多い質問をまとめています。

修理やお問い合わせの前に参考にしてください。

〈消耗品・小物の注文〉

主な消耗品・交換部品や小物はインターネットでもご購入できます。

※一部、取扱いのない商品もございます。

フリーダイヤル（0120-557-910）までお問い合わせください。

※お客様の個人情報の取扱いについて

個人情報保護に関連する法令を遵守し、個人情報保護に関する基本方針を定め、関係会社を含めた全社に徹底を図っております。詳細はタカラスタンダードホームページをご覧ください。

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

廃棄部材を不法投棄された場合、
廃棄の依頼者も法律違反で罰せられます。

■ 設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

標準使用条件 日本産業規格 JIS C9921-2 による

環境条件	電圧	100V	機器の定格電圧による
	周波数	50Hz又は60Hz	
	温度	20℃	JIS C9603 参照
	湿度	65%	
	設置条件	標準設置	
負荷条件		定格負荷 (換気量)	機器の取扱説明書による
想定時間	1 年間の 使用時間	換気時間	
		8760時間／年 (常時換気) 2410時間／年 (局所換気)	

愛情点検

長年ご使用のレンジフードの点検を！



このような症状はありませんか

- スイッチを入れても回転音が不規則に聞こえたり、回転しない。
- 運転中に異常音がしたり振動がある。
- 異臭がする。
- その他、異常を感じる。

このような症状のときは、事故防止のためにすぐに電源を切ってから、お買い上げの販売店または工事店に点検・修理をご依頼ください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区嶋野東1丁目2番1号

VRAC01トリセツ

24F-3



* 1 5 9 6 2 2 7 6 *